

鈴蘭 第12号

発行者 青木 伸弘
 編集 「鈴蘭」編集委員会
 〒763-8507
 香川県丸亀市津森町219番地
 TEL (0877) 23-5555
 FAX (0877) 23-6200
 http://jyujin-mmcc.jp
 題字 青木 伸弘



鈴蘭



新年度を迎えるにあたって

まるがめ医療センター
 理事長 青木 伸弘



できたことへの感謝がほとんどでした。研修報告会や勉強会の回数も以前にも増して増えたとおもいます。そんな地道な一つ一つの積み重ねから少しずつ大きな「塊」へと変化するのだと確信しています。

年齢を重ねるごとに、時の経つ早さに驚かされますが、まさにあつという間の4年で、上述した95%の職員は、様々な理由で退職して、現在の職員は40%近くが4年前とは入れ替わっていることが確認できました。

改革・改善の二文字が始まった再建も4年という月日が経ってしまい、過去の法人の習慣やしがらみを背負ってきた人も、時が経つと共に現法人の習慣を徐々に身に付けて来ていることも、新なる改革も40%となつた今、更なる改革を急ぎたいと思えますが、図体の大きさを痛感した4年でもあり、反省と共に前向きに立ち向かいたいと考えているのは従来と少しも変わりはありません。

「まるがめ医療センター」として、本当の意味で地域の住民に信頼される医療機関として生き抜くには一体何が必要なのかを真剣に考えており、今年はその答えを出すのが当職員、地域住民、更には丸亀医師会に対して、どのような協力を望まれているのかを常に考え、覚悟を持って新年度の複雑な診療報酬改定を乗り切りたいと思えます。

今まで以上に親しんでいただく「まるがめ医療センター」を目指して

看護部長 堀江 悦子



今年1月より看護部長を任命されました。日々の決断にも迷うことが多々ありますが、いつも、何が患者様にとって一番大切なのか、そのためにはどうすれば良いのかを考え看護職員の指導・教育に携わっています。

ことを見抜いていたためです。この考えは「犠牲なき献身こそ真の奉仕」という有名な言葉にも表れています。

昨今の医療業界はIT(コンピュータ)を用いての情報(情報収集や情報処理等、過去には考えられないようなシステムを構築しています。「アセスメント」「アプローチ」「エビデンス」等の横文字言葉も日常的にあふれかえっています。そんな現代ですが、私たち看護職の役割は、はるか昔のナイチンゲールにまでさかのぼります。ナイチンゲールといえは、クリミア戦争での献身的な看護が代表されますが、看護教育の分野でも顕著な活動をした看護師でもあります。彼女自身はボランティアによる救護団体の組織には真っ向から反対していました。これはマザー・テレサと同様に構成員の自己犠牲のみに頼る援助活動は長続きしない」という

恥ずかしながら私は足元にも及びませんが、看護管理者として思うのは組織全体が滞りなく回り、質の高い看護を提供できるようにすることです。看護サービスを患者様に直接提供するものは現場で働く看護職員たちです。一般的に「職員満足なくして患者満足はありえない」という思考があります。そのためには、看護職員が抱えている様々な問題の解決や職場環境の改善、また、専門職としての知識・技術の習得のための支援等が私の役割になります。

今後とも患者様の声を聴かせていただきながら、信頼される看護サービスが提供できるよう努めますので、変わらぬご愛顧及びご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。



まるがめ医療センターでの乳腺甲状腺疾患の専門診療

川崎医科大学乳腺甲状腺外科准教授
まるがめ医療センター非常勤医師

田中 克浩



まず自己紹介です。丸亀高校出身で昭和63年に徳島大学医学部卒業以来、第2外科および関連病院で研修、研究を継続いたしておりました。縁あって、平成8年4月に川崎医科大学乳腺甲状腺外科講師として赴任し、乳腺専門医、内分泌外科専門医、甲状腺学会認定専門医を取得しましたし、学会活動も甲状腺関係で平成10年より内分泌外科学会評議員、平成20年より日本甲状腺外科学会評議員、平成23年より日本甲状腺外科学会理事、平成24年より日本内分泌外科学会理事に就任させていただいております。中四国地区で両学会ともに理事は私だけです。

私が丸亀出身であることを縁に、当院の乳腺甲状腺外来を担当することになり、最初は木曜日と金曜日を二人で担当してきました。その後、診療体制に若い先生も加わり、すべ

ての曜日で当科の外来を行うことができている。ご存知のように1998年に乳癌が女性の癌の罹患率1位になって以来、専門性を駆使し、早期発見、早期治療が重要になっています。検診には今でも触診、MMG（40歳以上）またはエコー（若い人の発見に有用な可能性がります。）を用いて行っており、道具としては以前と何も変わりません。しかし、各機器の精度向上が目覚ましく、最先端の情報を常に得ておくことが最先端の検診および二次精査を行える条件であると考えています。二次精査では以前に増して、針生検での組織診断を多用するようになっていきます。当科の診療に携わっている医師はすべてMMG精度管理委員会の認定試験での資格を得ており、5年ごとの更新も随時行っています。当院で発見した乳癌患者は、ほとんどの人が手術は川崎医科大学乳腺甲状腺外科です。当院には放射線治療がありませんので他院での通院放射線治療をお願いする以外は、当院で補助療法の抗悪性腫瘍薬による治療も継続しています。検診などで発見された甲状腺癌も同様に、手術は川崎医科大学です。外來で行っています。甲状腺癌にも有望な全身療法である分子標的薬が

2つ登場しておりこちらでも継続投与していただきます。適切な投与時期、有害事象管理に専門性を出し、手術以外の治療がなかった患者さんに対しても生存期間の延長やQOL改善ができればと考えています。医学は進歩します。当院赴任時代にはなかった進歩した治療や検査を常に提供すべく努力してまいります。

ICT エピソード③



その風邪大丈夫ですか？まさか「結核…」なんてことにならないように今回は結核について見てみましょう。

日本では昭和20年代まで国民病と恐れられてきた「結核」ですが、予防対策と治療法の発展によって現在では100分の1にまで激減しています。とはいえ、完全になくなったわけではありません。日本は、先進国としては結核の患者数がかなり多い方です。世界の3大感染症はHIV（エイズ）、マラリア、結核です。世界では総人口の約3分の1が結核に感染しています。次に結核において知っておきましょう。

症状は？

初期の症状は、咳・痰・発熱（微熱）などが長く続く悪化すると、だるさ・息切れ、血の混じった痰がでる、血を吐く、呼吸困難がある
初期症状が2週間以上続いたら、病院へ行って検査を受けた方が安全です。

結核は決して「過去の病気」ではありません。問題は、感染者によって新たな感染者が生まれてしまうことです。そのため、早期に感染を発見、治療することが大切です。また、家族や親しい人に結核患者が出た場合は、自分も同様に感染していないか確認するための検査を受けることもお薦めします。

すぐに発病しないことも

結核菌に感染しても免疫力の働きによって発病しないこともあります。体内で抑え込まれた菌は、冬眠状態となります。しかし、免疫力が落ちると最初の感染から1年以上、中には数十年経ってから発病することもあります。

どうやって移るの？

体の中に結核菌をもっている人が咳をすると体の外に結核菌が出ます。それを他の人が吸いこむことによって感染します。



医師紹介

放射線科 須井 修



平成30年4月より、まるがめ医療センター放射線科医師として勤務させていただきます。3月までは四国こどもとおとなの医療センターに勤務しておりましたので、ご存知の方もいらっしゃるかもしれませんが、今後ともよろしくお願いたします。

放射線科の業務は、最近では画像診断が中心になっています。CT、MRI、などの高額医療機器を駆使し、体内の異常部位を画像化し、診断します。また、体内の臓器などを3次元表示し、手術などに役立っています。このため、1日中、モニターの画像にとらめつすることがほとんどです。視力が低下する、目がかすむ、肩凝り、腰痛は当たり前で、ストレスがたまり、オタク状態になります。ストレス解消方法が重要ですが、一番のストレス解消が元気に退院した時です。それと、(ひとりで)カラオケです。カラオケで大声を張りあげること、多少の嫌なことも吹き飛ばします。

整形外科 三好 英昭



この4月から、まるがめ医療センターの員として勤務させていただきます。

高松市出身ですが、大学卒業以降は兵庫、愛媛、香川、徳島など各地の病院で整形外科医師として勤務していました。直近の2年間は岡山県の倉敷市の民間病院に勤務していましたが、主として慢性期の患者さんが対象の病院でしたので、急性期病院で勤務するのはプランクがあり不安もありましたが、徐々に慣らしてゆければと考えています。

微力ではありますが、丸亀市の地域医療の一助となればと思っております。整形外科的なことではなにかご相談がありましたら、お気軽に声をかけてください。

また右も左もわからない状態で、こちらが気の付かない部分でスタッフのみなさんにはいろいろとご迷惑をお掛けするかと思います。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

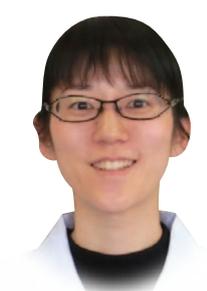
総合内科 山本 晃



平成30年4月より毎週月曜日の総合内科外来・夜間救急を担当させていただきます。山本晃と申します。岡山大学医学部を卒業後、岡山大学病院にて初期臨床研修を行い、前任地の広島県の病院では血液疾患を中心に、内科系の疾患を広く診療させて頂いておりました。普段、月曜日以外は岡山大学病院の総合内科にて診療に携わりながら、大学院にも所属して研究もしております。

病院にはいろいろな診療科がありますが、総合内科という科はその中でも特殊な専門科です。患者様ひとりひとりのニーズに合わせて、こういう症状があるけど、この科に行けばいいか分からない、色々病気があって行かないといけない科や飲まないといけない薬が多くて困るなど、病気がかわる色々なことのご相談に乗らせて頂きます。今後ともよろしくお願ひいたします。

整形外科 鈴木 美穂



平成30年4月より毎週金曜日に整形外科に勤務させていただきますこととなりました。鈴木美穂と申します。平成23年に愛媛大学を卒業し、岡山大学整形外科医局に入局しております。

愛媛県、岡山県ともに香川県の隣県という点で、香川県には何度も遊びに来させていたしておりました。観音寺の寛永通宝の砂絵はよく見に行きました。小さい頃に銭形平次のオープニングで観ていた砂絵がこんなに近くにあるとは思わず、感動したものです。ライトアップされたら幻想的な風景となり、時間を変えて何度も見に行きました。最後の方は、近くの商店で売られているたこ判という粉ものが目当てになっていました。

未経験なのが、金毘羅歌舞伎大芝居と金毘羅さんの奥の院です。まるがめ医療センターに赴任したのも何かの縁と思っておりますので、挑戦できればと思っております。

ご迷惑をお掛けすることもあるうかと思いますが、頑張りますのでよろしくお願ひ致します。

小児リハビリ テーシヨンセンター

田中 彩



今回、まるがめ医療センターではリハビリに來られた方の診察が中心になるかと思っております。小児リハが充実して、患者さんにとって恵まれた環境だと感じます。病気のことでなく、普段困っていることや、育児の悩みなど小さなことでも相談いただければと思います。リハビリ中に様子を見に行つた際など、いつでもお声をおかけ下さい。お子さんの笑顔のために、親御さんと一緒に考えていけたらと思います。不慣れで迷惑をかけることもあるかと思いますが、よろしくお願ひいたします。

平成30年4月より毎週金曜日午後の小児リハビリ外来を担当させていただきます。普段は香川大学小児外科で診療に携わっています。小児外科では0歳から成人の方まで幅広い年齢の方がいらつしゃいます。お腹や胸

講演会を開催しました

2月15日、日本医科大学付属病院ワクチン療法研究施設 所長である江上格先生をお招きし、「がん免疫療法の新しい潮流-丸山ワクチンは今-」のご講演をいただきました。「免疫とは何か」というご説明に始まり、丸山ワクチンの特徴や現在の研究について詳しくお話していただきました。この講演会の数週間前に、丸山ワクチンについて放送されたテレビを観ていた方も多くいらつしゃって、難しい内容ではありましたが、先生のご講演に熱心に耳を傾けていました。





事務次長 兼 システム情報課
課長 増田 修司

職場長の夢

大切にし、信頼を得るようがんばり、明るく元気な部署を目指して欲しいと思います。これからも宜しくお願いします。

システム情報課は、6名の精鋭で常時仕事をしています。主に仕事内容は、システム対応、診療録管理です。私達は、表舞台にたない「縁の下」の力持ちです。医療現場であるフロントオフィスの人たちが、働きやすい環境を作っていくのが私達の仕事だと思っています。その為、全ての部署とつながりを持ち、多種多様な要望やトラブルに対応する為に幅広い知識・技術が必要とされるので、お互い毎日切磋琢磨しています。又、当院の「行動指針」にある『他部署に興味を持ち、連携を密にチーム医療の充実に努める』を部署目標にしています。これからの他部署とのつながりを

当院7階ホールで講演会が行われました

最新の消化器がん治療

安全で安心、
そして新しい外科治療

岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科
消化器外科学教授 医学博士
藤原 俊義先生



当日は当院内外から85名の参加がありました。講演後は一般の患者様、医療関係の方々からの多数の質問に、心のこもった回答があり、非常にわかりやすく、最新の治療方法、取り組み、考え方について学ぶことができました。

市民講座のご案内

当院では市民講座を開設しています。現在既に、市内コミュニティセンターにおいて「乳腺・甲状腺を知る」というテーマで3か所開催されました。



参加者からは「もっと知りたい」という声を多く頂いています。

乳がんは、自分でも見つけることのできるがんの一つです。もっと乳がんについて知り、自分を守りましようと言うことです。また、甲状腺については、女性だけでなく男性の方も多くなっています。「もっと、もっと知ろう」です。今後さらに3~4か所予定されています。自分たちで計画して(30人以上)「知りたい」と思う方は是非この機会にお知らせください。



丸亀国際ハーフマラソン

今年ハーフマラソンが開催されて初めて全国47都道府県からエントリーがあったとの事で、人気が高まってきているのだと感じました。



前日から天気が荒れ模様で朝から雪が降り始め、会場に着いた時には辺り一面雪景色!! 昨年雨降っていた様な…。ウォーミングアップもままならず、「最悪、直前にキャンセルしちゃおうか」なんて事も考えてしまいました。しかしスタートが近づくと、止む気配のなかった雪が上がり、スタート時には晴れ間も見えるくらいに天候が回復しました。「やった、これで今年も走れる! 記録とか考えずにとにかく楽しみながら走ろう!!」と思ってスタートすると、いつもならペースを掴むまでに時間がかかるのに、割と早く自分のペースで走り始められ、自分の壁になっていたタイムを更新する事ができました。来年もまた楽しみながら自分の目標に挑戦してみようと思います。(米丸 貢)

桜満開の4月：新たに30名を超える新しいスタッフが増えました!



入職式

スタッフリレー Vol.9



氏名 齋藤 宏一
所属部署 リハビリテーション科 理学療法士

前回 浪越さんからの質問

Q 今の職業以外でなりたかった職業はありますか?

A 小学校の先生だったような気がします

MSWの浪越さんからたすきを預かりました、理学療法士の齋藤です。当院に就職して早4年目を迎えました。日々、様々な患者さんと接する事でたくさんの事を経験させて頂き自分には何ができ、何をすべきなのか等気づかされています。今後も質の高い理学療法の提供を目指して日々精進を重ねていきたいと思っています。

さて、今年も春を迎え日に日に暖かくなってきました。私の趣味である海釣りに行く機会が多くなる時期を迎えたので嬉しい限りです。昨年は初めて海釣りを経験しとても楽しい思い出でした。今年も挑戦し釣った事のない魚をたくさん釣りたいと思っています。次は高校の友人でもあるあの方に、たすきを渡したいと思っています。

私から「あの方」への質問
今年の目標は?

編集後記

4月は新しい社会人が誕生します。だれもが胸に期待を膨らまして仕事に就くと思います。職場には、院長以下縦の列と、まるがめ医療センター職員という横の列があります。この、縦と横の関係が「人間関係」です。自分の目線で判断すること、他の人の目線で判断することは当然違います。その齟齬が「悩み」となると表れるのです。その解決は、自分が仕事においてやりたいことをはっきり持つことです。これを最優先させれば他のことは「我慢」できるようになります。

新人者も先輩も仕事で実現したい「目標」をはっきりさせ、働きがいある職場を作りましょう。

加藤 繁秋